

シリーズ

かほく
市の

文化財 No.24

有形文化財 編 木造釈迦如来坐像

今回は、横山の常行寺にある市指定文化財「木造釈迦如来坐像」を紹介します。「木造釈迦如来坐像」は、本堂に祀られた丈約2mの釈迦坐像です。伝わっているお話として、胎内に般若心経と運慶作の仏像の頭片が納められているといわれています。そして、高松の浜に漂着した頭片を来間明堯が拾い、明堯が夢の中でおつげを聞き、本尊を作つて、頭片を納めたといわれています。地域の人たちに大切に扱われてきたため、指定文化財となりました。

4月8日は、お釈迦様
(ゴータマ・シッタールタ)

の誕生日といわれ、地域によって「花まつり」が行われています。この「花まつり」は、甘茶(ヤマアジサイの変種で小甘茶)をお釈迦様の像(生誕像)にかけてお祝いするというもので、市内でも行われているお寺があるそうです。春の天気の良い日に、お出かけがてら、かほく市内や県内の一般公開されている仏像めぐりをしてみてはいかがでしょうか？



木造釈迦如来坐像